

課題解決に向けた行動計画

佐賀県 佐賀大学医学部附属病院

2023年度
第2回地域緩和ケア連携調整員研修（ベーシックコース）

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名（職種）
佐賀大学医学部附属病院	江口 利信（社会福祉士）
	山田 信一（医師）
	石丸 浩美（看護師）
	野中 由美（看護師）

①地域の課題

地域の欲しい情報が何かわかっていない。情報が一方向

佐賀県地域連携カンファを県全体に広げ、多職種を含めて行くこと

情報提供が不足している。

各科・各医師によって異なっている。

共通課題は？

欲しい情報はどうか？ I D L i n k を使用する。

家族の認識度・本人の認識度に医師との差があるので、実際の思いを反映できるようにすることが課題（医師の説明内容と家族側の理解度）

A D L 状況を書くことがメインになっている。

ピカピカリンクをどのように活用するか。

②どのような地域を目指すのか

情報交換・情報共有が出来る地域を目指す

どの地域でも緩和ケアが受けられるような地域

佐賀市を中心に佐賀県全体に情報提供が出来るような地域

地域が安心して緩和ケアを受けられるような情報を提供できる

地域の医療機関が何を求めているのか？渡している情報と欲しい情報の解離
ニーズ調査

地域連携カンファで情報収集を行っていく

③課題ごとに取り組むべきことは何か

アンケート調査を行っていく。（ケアマネ、訪問看護に行った事がある。）
地域の方々に必要な情報は何か、調査を行っていく

地域カンファの広報、多職種参加を促す

他の職種の団体を地域連携カンファの共催に促す。

（薬剤師会、介護士の会？、ソーシャルワーカー協会など）

他のネットワークを利用させていただく

（ポイント付加など）全部一気にではなく、少しずつ間口を広げる。

職種別カンファ、合同カンファなど、参加のハードルを下げる

共通した情報提供ツールの作成

病院に拠点病院としての役割をアプローチ、交渉

④具体的な行動計画 ⑤実施時期

課題	誰が	何を	どのように	いつまでに
地域のニーズを把握する	石丸 野中 江口	アンケート調査 必要な情報は何か？	google form作成 地域連携カンファを通して 医師・看護師・MSW、地域 包括支援センター？、介護士	今年度中 2024.03
地域へ情報を提供する	江口 石丸	広報	ホームページ 会報誌 多職種への呼びかけ、他の団 体への共催要請	来年度中
情報共有ツールの作成	山田	情報共有ツールの作成	電子カルテシートの作成	2024.09
地域から県全体に	山田 野中	情報共有ツール	地域連携カンファ	2024年度中